

大阪大学英文学会ニューズレター

2015年度（平成27年）7月3日

向夏の候、阪大英文学会会員の皆様におかれましてはますますご健勝のことと拝察いたします。私たちの阪大英文学会は、会員の皆様のご尽力のおかげで発展を遂げて参り、再来年には50周年を晴れて迎えることとなります。日頃よりの種々のご助力・ご協力に心より感謝申し上げます。今年度も、どうか一層のお力添えをたまわりたいと存じます。

阪大英文学会会長
服部 典之

会員の皆様へ阪大英文学会の近況をニューズレターでお知らせいたします。同時にいくつか**新しくかつ重要な提案や企画**もございますので、是非最後までお読みいただき、会長までメールでご意見をお寄せください。メールアドレスは hattori@let.osaka-u.ac.jp です。

1. 阪大英文学会第48回大会について

今年度の阪大英文学会第48回大会について、まずは開催日時と概要のみをご案内させていただきます。この大会は、英文科同窓会の集まりも兼ねておりますので、皆様どうかお気軽にお越しいただきたいと存じます。**2015年10月24日（土曜日）、大阪大学豊中キャンパス文法経講義棟4階文41番教室で13時より開催**されます。プログラムとしては、

- ・ 2015年10月1日に文学研究科英語学准教授として赴任されます
田中英理先生の講演「The semantics of measure phrases across categories」
- ・ 英米文学の院生の発表（幹事会で人選）
- ・ 会員の皆様の研究発表
(ご希望がございましたら、会長宛にメールでお寄せください)
- ・ 2014年度で退職された**森岡裕一先生の記念講演**
「アップ/ダウンの遠近法——イメージとしてのニューヨーク」

を予定しています。特に森岡先生のご講演は諸事情により行われなかった最終講義を兼ねた記念講演ともなります。2013年度まで阪大英文学会会長でいらっしゃった先生のお話をたっぷりお聞きしたいと思います。多くの皆様のご来場をお願い申し上げます。

2. 阪大英文学会叢書について

阪大英文学会叢書は、第1巻『病いと身体の英米文学』が2004年に出版されて以来、第7巻まで順調に巻を重ねて参りました。2015年7月現在、米本弘一先生と沖田知子先生の編集による第8巻『英語のデザインを読む』の校正作業が行われています。初校も終

わり、阪大英文学会までには発刊の運びとなります。2014年10月18日の役員会において、10年強で8巻を出版した大型プロジェクト「阪大英文学会叢書」はひとまずここでお休みとし、再開に関しては今後の役員会で議論することとなりました。これまで数多くの会員の皆様と数多くの先生方にお世話になって参りましたことを心よりお礼申し上げます。

3. 阪大英文学会第50回記念大会について

再来年度・2017年度（平成29年度）の大会は、阪大英文学会創設1967年第1回大会から数えて50回目の記念大会となります。阪大英文学会は誕生して半世紀を迎えるわけです。幹事会ではこれに併せて特別企画を考えております。一つ挙げているのは、「阪大英文学会50周年記念・藤井治彦先生20回忌大会」にしてはどうかというものです。阪大英文学会を心から愛されて、1998年にご逝去なされた藤井先生の20回忌を偲ぶイベントとして、アカデミックでかつ個人的想いの籠もった話を、各世代を代表して何人かに話していただく座談会のようなものが考えられるのではないかという提案も出ております。「シンポジウム・藤井治彦」という仮題も考えられております。会員の方々のご意見をうかがえればと願っております。

4. 2015年度（平成27年度）阪大英文学会役員の名簿

1. 会長：服部典之（2014/10~2016/10）
2. 幹事：岡田禎之（2013/10~2015/10）
片渕悦久（2014/10~2016/10）
石割隆喜（2013/10~2015/10）
山田雄三（2014/10~2016/10）
3. 運営委員：（2014/10~2016/10）
Paul Harvey（大阪大学文学研究科）
梅原大輔（甲南女子大学）
北爪佐知子（近畿大学）
谷口一美（京都大学）
吉村あき子（奈良女子大学）
西村美保（福岡教育大学）
溝手真理（帝塚山学院大学）
森本道孝（近畿大学）
4. 会計：好井千代（大阪大学文学研究科）（2014/10~2016/10）
5. 会計監査：伊勢芳夫（大阪大学言語文化研究科）（2013/10~2015/10）
大森文子（大阪大学言語文化研究科）（2014/10~2016/10）
6. 顧問：（終身）
成田義光（大阪大学名誉教授、元関西学院大学・元神戸女子大学教授）

石田久（大阪大学名誉教授、元大阪学院大学教授）
河上誓作（大阪大学名誉教授、元神戸女子大学教授）
玉井暲（大阪大学名誉教授、武庫川女子大学教授）
大庭幸男（大阪大学名誉教授、関西外国語大学教授）
森岡裕一（大阪大学名誉教授、関西外国語大学教授）

5. 阪大英文学会学会誌として OLR を学会に統合するという案について

本学会は学会誌を出さずに、代替する大型企画として阪大英文学会叢書を発刊してまいりました。今、新たなステージに向かうに当たって、執筆者不足や組織として位置づけが難しいという問題が解消せず、存続が困難になっている同人誌 *OLR (Osaka Literary Review)* を本学会の学会誌という位置づけとして組み込むという案が出ております。執筆者増加や企画立案の柔軟化が期待され、阪大英文学会の活性化に繋がると思われるからです。ただ、阪大英文学会の会員と *OLR* の同人の関係の問題、おのこの性質の違いをどう融和するか、会費をどうするか、など問題はいくつかあります。具体的な方策はこれから検討し、本年度の学会でフォーラムのような形でお諮りする予定です。あらかじめご意見のある方は会長までメールでお寄せください。

6. 会費の納入についてのお願い。

阪大英文学会の年会費は、2,000円です。本年度（2015年度）分の会費の納入をお願いするために、ここに、郵便振替用紙を同封させていただきました。なにとぞよろしくお願い申し上げます。

口座名称：大阪大学英文学会、

口座番号：00950-7-182533 です。

7. 英米文学・英語学研究室から。

今年度の研究室のスタッフの構成は以下のようになっています。

英米文学：服部典之（教授）、片渕悦久（教授）、山田雄三（准教授）、石割隆喜（准教授、兼任）、Paul Harvey（外国人教師）、好井千代（助教）。

英語学：岡田禎之（教授）、田中英理（准教授・10月赴任）、加藤正治（教授、兼任）
神山孝夫（教授、兼任）。

なお、「兼任」とは文学研究科大学院修士課程「文化動態論」専攻の「文学環境論」と「言語生態論」の各コースに所属されておられて、英米文学および英語学専門分野のスタッフをも兼任されている方を意味します。

それでは、本年も10月の大会にて皆様方にお会いできるのを楽しみにいたしております。

阪大英文学会会長

服部典之